



2023年8月期 決算説明会 質疑応答 (2023年10月13日開催)

Q

まず、経営内容は安定してるはずですが、いつまで無配当を続けるつもりかを教えて頂きたいです。

アスタリスクさんは凄い会社だと思うからこそ厳しく言わせて頂きますが、中期計画はこれと言った決め手も欠いてる上にスピード感も無く、あれでは単なる理想を示しただけですよね。

あんなゆっくりとしたペースでは同業他社の新規開発に勝てないのでは無いでしょうか？

ユニクロとの和解内容も伏せたままで分からないままですが、あの優れたレジシステムだけでも認知度が高く大好評なので、コストカット等を進める事で大きくリード出来るのでは無いのでしょうか？
なぜこれを一刻も早く全国、世界へ強く売り込まないのですか？

この一年の経営内容もそうですが、新進気鋭の期待された会社なのに革新的なやる気も感じられず、全ての見通しが甘いと感じます。
株式市場に上場したからにはあなた達身内だけの話では無いのですから、プロ野球等でも負ければ監督責任の問題となるのと同じでしょう。
それなりの覚悟で危機感を持ち、配当なり株価なりで株主に対する結果を早急に出して頂きたい。

A

お問い合わせいただいた貴重なご意見、誠にありがとうございます。
当社は、今後の企業の発展に最大限の努力してまいります。
以下、いただきました御質問に対する回答となります。

1. 配当政策

当社は現在成長過程にあり、内部留保の充実、経営体制強化及び事業拡大のための投資等に充当していく予定としております。今後の配当につきましては、業績や配当性向、将来的な成長戦略などを総合的に勘案し検討いたしますが、当回答書提出日(2023年10月27日)現在において、配当実施の可能性及びその実施時期については未定であります。

A

2. 中期計画と競争力

中期計画に関して、より具体的で効果的な施策が必要であるとの御指摘、ありがとうございます。競合先への情報提供となる点などを鑑み、具体性に欠ける開示となりますこと、御容赦ください。競争環境は厳しいものであり、競合他社との競争に勝つためには効率的な戦略が必要と理解しております。速度と効果に焦点を当て、中期経営計画の達成と、それ以上の成長に向けて動いてまいります。

3. ファーストリテイリング社との和解内容とビジネス戦略

ファーストリテイリング社との和解内容については、諸事情により具体的な情報を提供できません。

RFIDを活用したレジシステムにつきましては、これまでは小売業がコロナ禍の影響が大きかったこともあり設備投資に向けた動きが鈍化していたものと思っております。

最近になりその動向に変化があり、現在、RFIDを活用したレジシステムや人追跡システムを活用したレジシステムなど、小売業界に向けた製品の動きが出始めており、当社としても営業に力を入れております。また、こがね製麺として実施している人追跡のレジなども含め、ニーズは高いと感じております。これらの技術を踏まえたレジシステムの導入は、コロナ禍の影響から大きくずれましたが、ニーズは確かにあるものと思っておりますが、ただし提案から導入までに時間を要すこともあり、少し時間もかかっているのは事実です。当社のレジシステムを小売業界に拡げ、レジ業界での当社の知名度の向上とシェアの獲得に向け営業活動を行います。

4. 革新と競争力

貴重なご意見、ありがとうございます。ご意見のとおり、変革と成長が必要なフェーズであると考えております。中期経営計画の達成を通じて企業の成長をはかり、株主のみなさまの期待に応えられればと考えております。

Q

月次の受注実績や決算報告の情報があまりにも大雑把すぎる。特に昨年度決算においては業績が振るわない中、改善策に関しての具体的な記載がなく不安を募らせる内容が続いた。もう少し具体的に発信することはできないのか。

A

月次の受注情報・決算報告・改善策など、透明性や明瞭性の確保に努める一方で、競合先への情報提供となる点や、取引先様への秘密保持の観点から慎重な対応も求められます。それらのバランスを考慮しながら、今後、投資家の皆様に向け、より効果的な情報の開示を検討してまいります。